

地方創生にかかる包括連携協力に関する協定書 締結式 株式会社南都銀行 川上村



地方創生に向けた新たな一歩

8月19日に、川上村と南都銀行は地方創生にかかる包括連携協力に関する協定を締結しました。

詳しくは今月号の2～3ページをご覧ください。

● 主な内容 ●

南都銀行と協定を締結	2～3
かみせ祭・盆踊り	4
林業まつり	5
インターン報告	8
かわかみ言葉特集	10～11



広報かわかみ

平成28年9月12日発行

発行 奈良県川上村

編集 川上村広報編集委員会

〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7

TEL. 0746-52-0111

ホームページアドレス <http://www.vill.kawakami.nara.jp>

メールアドレス soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp



一、私たち川上は、川上における自然とのつきあいが、地球環境に対する人類の働きかけの、すばらしい見本になるよう努めます。

(川上宣言は全部で5つの項目になります。)
(毎号1項目ずつ掲載していきます。)

「川上村」と「南都銀行」が 地方創生に関する協定を締結



役場第一会議室で行われた締結式

8月19日に、役場第1会議室にて、川上村と南都銀行との間で「地方創生にかかる包括連携協力に関する協定書」の締結式が執り行われました。

これは、「まち・ひと・しごと」の各分野において、各々の持ち得る知的・人的資源を有効に活用し、相互に綿密な連携・協力をするこゝとで地域の活力の増進、経済の発展、また住民サービスの向上をめざすものです。

南都銀行が市町村と包括連携協定を締結するのは、県内で5例目ですが、村部や吉野郡内では初めての締結となります。（※8月19日現在）

締結式の挨拶では、栗山村長が「金融機関が地域産業に目を向けてくれることは心強い。村としてはその期待にしっかりと答えていく」と決意を述べると、南都銀行の北常務取締役は「林業の再生支援・暮らしがつづく集落づくり・観光交流の推進など具体的に支援をしていきたい」と述べられました。

この協定では、南都銀行が持つ金融機関としての知見とネットワークを活用し、村の事業との連携を積極的に推進します。例えば、住み続けられる集落づくり・村づくりを目的とした「小さな拠



挨拶をする栗山村長と北常務取締役（南都銀行）

点」整備の支援、基幹産業である林業の再生、村の資源や魅力を総動員した観光交流の推進等に力を貸していただくことで、都市にはない豊かな暮らしづくりの創造支援に協力していただきます。

◇連携・協定の内容

本協定書では、目的を達成するため、4つの連携事業を挙げています。詳しくは次のとおりです。

① 地域産業の振興と安定した雇用創出

地域産業の振興として、南都銀行は本協定よりも早い、本年2月5日に、山づくりから販売までの一貫供給をめざす「吉野かわがみ社中」と連携協定を結び、林業の再生事業に取り組んでいます。具体的には、川上産吉野材を使った魅力ある商品づくり（六次産業化）や情報発信、他業界とのマッチングなどがあげられ、国内市場縮小への対策として海外販路の開拓支援をめざしています。

② 創業支援及び地域経済の活性化

地域経済の活性化を図るため、行政や民間企業が力を合わせ、自然と一体となった産業を育て山と水を守り、都市にはない豊かな暮らしを築くことを目的とした「学びと体験・水源地を核とした源流ツーリズム」を実現すべく、人材の育成を行います。例えば地域おこし協力隊が進めている力

ヌーの事業化等が挙げられます。

③ 地域づくり、地域の活性化及び移住・定住促進

7月に設立された一般社団法人「かわかみらいふ」の顧問を務めていただき、法人の設立にも援助していただいております。「かわかみらいふ」は今後、移動販売や個別宅配を展開します。また社会福祉協議会とも連携を取りながら、地域福祉について考えていく予定です。

④ その他の地方創生の推進

約1年前からホテル杉の湯の支配人に南都銀行職員を派遣いただき、人的交流など多方面において連携を図ってきました。

また、国の地域経済分析システム（REISSAS）の活用や商圏などの分析に助言や協力を期待しています。

村では、今後も連携事業を推進し安心して暮らせる、都市にはない豊かな暮らしづくりに取り組んで参りますので、ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

地方創生に係る包括連携協力に関する協定書

川上村（以下「甲」という。）と株式会社南都銀行（以下「乙」という。）は、まち・ひと・しごと創生法第2条の基本理念の趣旨に則り、「まち・ひと・しごと」の各分野において、各々の持ち得る資源を有効に活用し、密な相互連携と協力のもと、地域活力の増進、地域経済の発展および住民サービスの向上を図るため、次 地方創生にかかる包括連携協力に関する協定を締結する。

（目的）

第1条 甲および乙は、それぞれが保有する知的・人的資源等を有効に活用し、相互に連携・協力することにより、産業振興と地域活性化に貢献することとする。

（連携事業）

第2条 甲および乙は、前条の目的を達成するため、次の各号に定める連携事業について連携するものとする。

- （1） 地域産業の振興と安定した雇用の創出に資する事業
- （2） 創業支援および地域経済の活性化に資する事業
- （3） 地域づくり、地域の活性化および移住・定住促進に資する事業
- （4） その他、地方創生の推進に資する事業

2 前項の各事業に関する具体的な活動内容については、個別に甲乙協議を行ったうえで決定するものとする。

（秘密保持）

第3条 甲および乙は、前条の連携の実施にあたり知り得た秘密情報を、第三者に開示もしくは漏洩し、または第1条に定める目的以外の目的に利用してはならない。ただし、以下の事項は除くものとする。

- （1） 相手方から開示された時点で、既に公知となっているもの
- （2） 相手方から開示された後、開示を受けた当事者の責によらずに公知となったもの
- （3） 相手方から開示された時点で、既に開示を受けた当事者が保有していたもので、その旨を遅滞なく相手方に通知したものの
- （4） 法令に基づき、正当な権限を有する公的機関から開示要求されたもの

2 甲および乙は、本協定終了後も前項による秘密保持の義務を負うものとする。

（反社会的勢力）

第4条 甲および乙は、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条1項2号に定める「暴力団」、同6号に定める「暴力団員」、その他「暴力団」又は「暴力団員」に準じる反社会的勢力又は人物（以下、「反社会的勢力」という。）と一切の関係を持たないことを確約する。

（協議事項）

第5条 本協定に定めなき事項または本協定の条項の解釈に疑義が生じたときは、甲乙信義誠実をもって協議の上決定するものとする。

（有効期限）

第6条 この協定の有効期間は、締結の日から「川上村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画終期である平成32年3月31日までとする。

ただし、期間満了の1ヶ月前までに甲または乙のいずれからも特段の申出が無い場合には、引続き1年間効力が延長されるものとし、以降も同様とする。

本契約締結の証として、本書2通を作成し、甲乙記名押印の上、それぞれ1通を保有する。

平成28年8月19日

甲：奈良県吉野郡川上村大字道1335番地の7

川上村長

栗山忠昭

乙：奈良市橋本町16番地

株式会社 南都銀行

取締役頭取

橋本隆史

締結された「地方創生に係る包括連携協力に関する協定書」

夜空にガガやく綺麗な花火

今年は例年より一週間早く開催!

今年も例年通り、村内3カ所で夏祭りが行われました。6日のかみせ祭は、例年より一週間早い開催となりましたが、今年も大勢の人が集まり盛り上がりを見せました。



大勢の方が集まりました



今年も迫力ある花火が打ち上げられました



ちびっこ龍幻は今年も元気に演奏してくれました

東部地区盆踊り

14日は北和田地区において、第4回目となる「東部地区盆踊り大会」が行われました。

開始直前から雨が降り出すアクシデントもありましたが、途中で雨はやみ、盆踊りを実施することができました。

普段は静かな地区ですが、この日は、子どもたちの元気な声が響きました。



焼き鳥のいい匂い～



やっぱり夏は盆踊り

東川盆踊り

15日は烏川神社（東川）で東川盆踊りが行われました。前日の北和田に続き2日続けてのお祭りとなりましたが、地元の人を始め村民の方が多数集い、賑やかな祭りとなりました。

また、今年も国際ボランティア協会の方が参加し、交流を深めていました。

上手く取れるかな～



神社で盆踊りは雰囲気少し違います



吉野かわかみ社中林業まつりを開催 ～土倉庄三郎翁没後100年記念事業～



奈良県森林技術センターは
階段木琴（木製楽器）などを展示
木の玉が転がり落ちる度に
楽しい音色が♪



漁業組合はアマゴのつかみ取り
夢中になって服はビショビショ



奈良の木ブランド課（県庁）は
木の玉プール
子どもたちは楽しそうに遊んでいました



吉野かわかみ社中は丸太切り体験を実施
上手く切れるかな？

8月6日、川上村健民グラウンド（西河）で林業まつりが行われました。
これは、吉野かわかみ社中が主催となり、各団体が協力し、吉野林業の中心地である川上村で、木に触れ、知ってもらい、体験してもらい、吉野林業を次の500年に繋げるために開催されました。
当日は、約600人が来場し、イベントは大盛況でした。



匠の聚からは
松本一平先生が
木工体験を開催
真剣な表情で作品を作る子どもたち



林業総合センターでは
杉や桧などが大売出し
子どもたちは夏休みの工作で
何か作るのかな？



建築組合は
住宅無料相談会を実施



福本氏のチェーンソーアートは
やはり迫力満点

ここでは全ての団体・個人を紹介できませんでしたが、他にも多くの方がご協力してくださいました。

吉野かわかみ社中は、9月1日より一般社団法人となりました。今後も林業再生の為に頑張りますのでご支援・ご協力の程よろしくお願いたします。

「頑張ります！」 栗山です」

「風もなくいいお天気で良かったですね」陛下がお帰りの際、かけていただいたこの御言葉は、今も私の記憶に鮮明に残っています。

2年前の11月16日、天皇后陛下をお迎えし、開催した第34回全国豊かな海づくり大会やまと。その際、両陛下から感動と勇気をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

当時の私の願いはただ一つ。雨の心配もありましたが、何より「風のない穏やかな天気で両陛下をお迎えしたい」ということでした。冒頭の「風もなく…」と声をかけていただいたことは、そんな私の心を見透かされたかのように

で、驚きと感激を隠すことが出来なかったことを覚えていきます。あらためて両陛下の国民への優しさやいたわりがどれほどのものかを痛感しました。

以前より両陛下の御年と公務の多忙さは国民の心配ごとでありましたが、このほど、陛下の「お気持ち」が国民に向けて語られました。その内容は生前退位の意向を強くにじませるものでした。

私はかねてより、両陛下の公務は私たちの想像を遥かに超える「重責」があるものと思っています。そして、公務に対する「お心」と「お気遣い」を添える姿に敬服の外ありません。今後は何より、天皇陛下の「お気持ち」を尊重することが大事です。両陛下のますますのご健康をお祈り申しあげます。

村づくり塾活動中です！

今後の村づくりについて、学び・考える「村づくり塾」が活動しています。

どなたでもご参加していただけますので、お気軽にお問い合わせください。ご参加をお待ちしております。

ります。
とき 平成28年9月27日(火)
19時

ところ 役場第1会議室
テーマ 特産品開発の検討など

【問い合わせ先】
役場定住促進課
TEL 52・0111

清流

川上村を出発して、バスに乗ること八時間余り。訪れたのは、四万十川の上流にある愛媛県松野町。

広報かわかみの募集を見て、「他府県の源流の里も見てみたい」という気持ちから二泊三日の旅に参加しました。

川に沿って走る道は、川上とあまり変わりありませんでしたが、沈下橋といわれる珍しい橋があったこと。さらには、その橋の数の多さに驚かされました。

道中、見学した桂浜のゴミ一つない砂浜と、澄んだ海の青さ、道後温泉の趣きのある建物に、感動しました。

会場の中学校に到着し、校舎に入ると、真新しい木の香りに包まれ、バスの長旅の疲れも癒されました。

木で作られた校舎は、現在の林業不振の中、子ども達が木となじむことが出来るようにとの思いが込められているのでしょうか。



源流サミットの会場にて

川上村でも、杉や桧が判らない子ども達が多いのでは？との疑問が浮かび、自分達が住んでいる村の木にもっと馴染みを持てるようにしたいものです。

松野町の人達の取り組みを聞き、人口が減少する中で、源流に位置する町や村の悩みはどこでも同じであると感じました。お年寄りが多い私達の村は知恵の宝庫です。

お年寄りのパワーを使って、もっともっと元気な村に、人と人とのつながりを大切に：木や水を大切に：

三婆

剣士たちの熱き魂がぶつかり合う！

8月21日に、川上武道場（旧東小学校体育館・北和田）で「第14回 剣道交流大会」が開催されました。今年も総勢492名の剣士が参加しました。試合は幼年の部〜一般女子初段以下の部までの13の部門に分かれ、白熱した試合が行われました。

冒頭、先日上垣氏（宮の平）が範士に昇格したことを受け、栗山村長より表彰状が贈られました。

開会式では、元警視庁・範士田原弘徳先生より、ただ剣道の強さだけではなく、勉強もし、文武両道で頑張りたい。と激励の言葉を送ってくださいました。



川上源流館からは
山崎教頭（川上中）が会場

今年の各杯受賞者は次の通りです。

《敬称略》

- ◆ **知事杯** 仲田 寛
（奈良女子大学附属中等教育学校）
- ◆ **村長杯** 美濃部 蒼（奈良心剣道場）
- ◆ **議長杯** 神谷 佳歩（安原少年剣道クラブ）
- ◆ **教育長杯** 吉本 仁子（久田剣道場）
- ◆ **吉野署長杯** 山中 郁美
（大和青少年文化研修道場）
- ◆ **丹生川上神社上社杯** 高山 早紀（新風館道場）
- ◆ **特別賞** 北澤 采与（東生駒剣道クラブ）
吉田 竜也（湯浅剣心会）

かわがみらいふが始動！

8月8日、ふれあいセンター（北和田）で、一般社団法人かわがみらいふの事務所開き式が行われました。

式典では、栗山村長が「皆さんに活力と元気を与えて欲しい」とこの事業に期待を寄せると、同法人の春増理事長は、「まっすぐ伸びる吉野杉のように、皆さんが暮らしやすい村づくりに向けて頑張るのみです」と力強く宣言されました。

10月からの移動スーパーの時間、コープ宅配については、今月の「かわがみらいふ通信」をご覧ください。



看板を除幕し、スタートを切ったかわがみらいふ

皆さんの気持ちを届けました

村では、平成28年熊本地震の被災者救援のため、村内に募金箱を設置していました。

皆さんのご協力もあり、16万9,713円（8月18日現在）の募金が集まりました。お寄せいただいた募金は、8月22日に栗山村長より日本赤十字社奈良県支部に届けさせていただきました。

ご協力いただいた方には感謝申し上げます。

この募金活動は、引き続き実施します。皆さん、ご支援ご協力のほどよろしくお願い致します。



富岡義文事務局長に義援金を
手渡す栗山村長

川上村で過ごす・出会う・学ぶ 地域づくりインタビュー2016

8月12日〜25日、地域づくりインタビュー事業に大学(院)生7名が参加しました。今年は、東京・兵庫・京都・大阪で暮らす学生が村に滞在し、吉野林業を学ぶプログラムや水源地の森トレッキングや盆踊り大会等へ参加、交流しました。村では、ワカモノ・ヨソモノの視点を活かした提案・提言を村づくりに活かすこと、参加者が川上村に関心を持ち、広く発信してもらうことを目的に事業を実施しています。



あきた まなか
秋田 麻菜香
京都女子大学家政学部

山、川、星、そしてその中で暮らす村の方々の笑顔、それぞれが輝いていて川上村はなんてきらきらしているんだろうと思いました。

みなさん都会では体験できない川上村ならではの楽しみを堪能されていて、住めば都とはこのことかと納得しました。この実りある2週間は絶対に忘れません。



うえた いおり
上谷 意織
立命館大学政策科学部

川上村で過ごした2週間は多くの方の助けがあったとても楽しく

過ごすことが出来ました。役場の方だけでなく、村民の方々にも野菜を分けてもらったりシカ肉をブロッコリーでいただいたり楽しいお話をしてくださったりで感謝の思いは尽きません。皆さんとの思い出を胸にこれからも頑張ります！



おくだ えり
奥田 絵
関西学院大学
社会学研究科

私は森と水の源流館ボランティアスタッフとして村を訪ねていましたが、2週間滞在したことで多くのことを学びました。川上村は豊かな自然があるだけでなく、村の人々が培ってきた知恵や技術、そして人々の温かさを肌で感じました。また川上村に再訪したいという思いが強くなりました。



たかぎ さほ
垣木 咲穂
同志社大学法学部

川上村での2週間を通して、自分の視野を環境や林業といった分野にも広げることが出来たうえに、たくさんのお会いにも恵まれました。このインタビューシップに参加して本当によかったです。自分自身を成長させてくれた川上村に心から感謝するとともに、今回のご縁を大切にしていきたいです。



しょうじ ひろき
庄 宏樹
関西学院大学経済学部

2週間のインタビュー中、村の方々は皆、我々インターン生に親切にしてくださいました。気さくに挨拶をしてくださったり、川上村について話してくださったり、肉や魚、野菜をおすそ分けしてくださったり。これが田舎の価値だと確信しました。また、自分の地元の大切さにも気づかされました。



なかた みほ
中台 美穂
立教大学観光学部

2週間お世話になりました。今回のインタビューシップでは、互いにヒントや刺激を与えあえる6人の仲間と出会えたこと、そしてその仲間や村民の方々、役場の方々と様々な内容で意見交換ができたことが何よりの収穫でした。必ずまた川上村に帰ってきます。本当にありがとうございました。



なかやま ほなみ
中山 穂南
奈良女子大学
生活環境学部

毎日があまりにも楽しくて、終わってしまったのが嘘のようです。神秘的な森、澄んだ川、そして何より嬉しかったのは、人の温かさ。あの人にもう一度会いたい、あそこにもう一度行きたい。そんなことばかり考えてしまいました。お世話になった全ての方々、本当にありがとうございました。



かわがもんがゆく。

— 地域おこし協力隊活動記 —



地域おこし協力隊3年目、武木在任の竹中です。

昨年4月から開始したエコツアー推進プロジェクト「山遊び塾ヨイヨイかわがみ」は2年目を迎えています。現在は、昨年度に毎月開催したモニターツアーの結果を踏まえながら、カヌーの連日開催や夜のショートツアー、他団体主催ツアーでのガイドなど、新たな取り組みを行っています。

「この企画で来てもらえるだろうか」「満足してもらえらるだろうか」という心配は毎回ありますが、これまで300名を超える方々にご参加いただき、必ず需要はあるという手ごたえを感じています。

また、私事ではありますが、9月9日より11月8日まで、ヒマラヤ山脈（ネパール）の未踏峰・ナンガマリⅡ峰（6,209m）の初登頂と同Ⅰ峰（6,547m）への初縦走をめざす遠征隊に参加します。

前職の頃から所属していた山の

会の登山隊で、約3年前から準備を進めてきました。必ず無事に帰って来なければならぬと、気を引き締めて最後の準備にあたっています。

秋には一回り大きくなって帰って来れるよう、全力を尽くしていきます！

（竹中雅幸）



今年は川にもよく入りました



ナンガマリⅠ・Ⅱ峰
（日本山岳会関西支部東ネパール登山隊2016登山計画書より）

ゴイシツバメシジミを みんなで守ろう

8月7日（日）に国の天然記念物で、「種の保存法」に基づく希少野生動物植物の蝶、ゴイシツバメシジミの野外観察会を開催しました（主催 川上村・環境省近畿地方環境事務所）。この生息地での観察会は昨年に引き続き、2度目となります。現地では、ゴイシツバメシジミの調査に長年関わっている伊藤ふくお氏（昆虫生態写真家）と木村全邦氏（森と水の源流館）が、広報かわがみなどの公募で集まった参加者（7名）に生息地の昆虫や植物などの自然観察を通じて説明したり、フィールドスコープでゴイシツバメシジミを探したりしました。

参加者からは、『自然の変化で生物の生息環境が変わりゆくことを実感しました。わかりやすい説明に新たな視点を見つけたように思います。ゴイシツバメシジミをたくさん観測できる日々を取り戻すべく考えたいと思います』、『理屈は抜きにしてなんと美しい山かと思いました。きっと蝶もまた飛んでくれると思います』などの感想がありました。

今回の観察会では、ゴイシツバメシジミは発見できませんでした。が、他では、めったに観察できないような希少な動植物も観察することができて、改めて川上村の自然の貴重さを実感しました。この蝶の大きな減少要因は、マニアによる不法採集とされています。貴重な自然環境を守るためには一部の研究者だけでは不可能で、地域の自然を愛する住民や地域と関わる市民の関わりが不可欠です。多くの方が川上村の自然環境に興味を持たれば、再びゴイシツバメシジミが舞い乱れる川上村の森になるかもしれません。そんな日が来ることを願ってやみません。



自然解説をする伊藤ふくお氏（右端）
（奈良県レッドデータブック改訂昆虫分科会委員）

かわかみことば特集

各地区の方言を紹介するにゃ～

武
水
編

山 言 葉

- やまのきさん 山で仕事をする人
- ちょうば 山に着いて仕事前にめんつこの片方のご飯を食べる
- せんどり 材木を架線で運び出す

最近テレビで全国各地の方言が取り上げられ、ドラマなどでも昔なつかしい言葉が語られています。もちろん私達の村でも、昔の言葉で話されている方がいます。広報編集委員会では、温もりのある方言を大事にし、先人から伝えられた文化を後世に残すため、各大字を訪問し、取材をさせていただきました。

隣近所の貴重な語り文化としていつまでも残される事を願います。今後各大字を取材させていただきます。
(尚、昔から伝わる方言の性質上、そのまま掲載致しました)

方言クイズ

何のことかわかるかな？

- あるはっちゃん
- きんじょかき

※答えは特集の中にあります

家庭と生活

- おやじ } 父
- おやっさん }
- おかちゃん 母
- おいねこ 背負って荷物を運ぶ道具
- じまり わらざり

食べもの

- なきな はなやかだ
- すいすい
- ばしな } からしな
- はびろな }
- おみ ぞろすい
(必ずぞろめんを入れる)
- けんずい ご飯とご飯の間に食べる
- やせく 夜食(夕食後に食べる)
- かんぴんたん サシマの干物
- じきじき } ホットケーキのようなもの
- ぞらやき }
- ひゅうがのも じゃが芋

遊 び

- ペったん
- 石けり
- じんどり
- どんま
- 馬のり
- ゴムどび
- おはじき
- めんこ

語り部さん (敬称略)

- | | |
|---------|---------|
| 梶 谷 長 碩 | 吉 田 美恵子 |
| 吉 田 勝 美 | 上 田 孝 子 |
| 吉 田 博 美 | 梶 谷 喜久子 |
| 大 辻 眞 一 | 下 西 邦 子 |
| 上 大 敏 美 | |

日常会話

- 〇〇ねえ 他人を呼ぶとき親しみを
こめて姉をつける
- おいあふ 自分をさす
- おまえあふー あなたたち
- そんなことあるにふ
そうゆうことはありません
- いのあふ 帰ろうふ
- いこか 行きましようか
- まっぴあまっぴあ わかった、わかった
- はましもてや 早く仕事を終わってください
(挨拶のひとつ)
- ほてかあ そして
- きんじまかき 他人の家で長居する
- ぱっぱ 背負う(赤ちゃんなど)
- まいまい 歩きはじめ
- おめく 大声でさけぶ
- ひるる 大声をあげる
- いのかげんにさらせ それぐらいにしなさい
- ほけていね 家を出て行きなさい
- ふせてけつかれ ねて静かにしなさい
- あるはっちゃあ あるはずですよ
- あるにふー あるはずがない
- どあほ } 強調して言う場合ことば
- どのけず } のはじめにどをつける

※他にもさまざまな言葉を伺いましたが、他の地区と被るものや一部の言葉は除かせていただきました。聞き取りをしていくうちに、同じ村の中でも個性のある言葉があるんだなと感心しました。

ご協力いただいた語り部の皆さん、本当にありがとうございました。 広報編集委員会

教育かわがみ

第44回 教育長通信

◇他校との交流その2

川上中学校では、少人数のため
に普段経験できないことを補填す
る目的でいろいろな試みをしてお
りませんが、その一つとして昨年か
ら桜井市の中学校との交流を始め
ました。

昨年は、川上中学生が桜井東中
学校を訪問し、共に2時間の授業
に取り組みました。

今年は夏休みの8月18日に桜井
市立中学校4校の生徒会役員の生
徒たちと先生方が40名余り来村
し、午前中は川上中学校で生徒会
サミットを開催。コンピューター
を使ってお互いの学校や地域の紹
介と質問を通して交流を図りまし
た。

その後、場所を東川の中井溪谷
自然塾に移して、昼食準備から各
学校混成の班活動で共同作業を行
いました。アマゴつかみ、バーベ
キュー、西瓜割りに至るころには
すっかり打ち解けあい、和気あい
あいの中学生の元気な姿が見られ
ました。



生徒会サミットの様子



生徒会サミット開会



うまく割れるかな



楽しくバーベキュー

◇川上村民大運動会開催について

来る10月9日(日)、保育園・
小学校・中学校の運動会を主体
として、村民体育大会を加えた
初めての川上村民大運動会を開
催します。

村内に住まいする誰もが一堂
に会して共に体育活動を楽しむ
秋の一日にしていきたいと思
います。

9 (日)	7 (金)	3 (月)	30 (金)	26 (月)	25 (日)	22 (木)	20 (火)	17 (土)	16 (金)	15 (木)	14 (水)	12 (月)	
第1回川上村民大運動会	給食施設検査 照度検査	運動会会場準備 冬服更衣基準日	運動会予行総練習	運動会予行会場準備 ハロー英語	PTA会員研修会	祝日 秋分の日	振替休日	文化祭「紅葉祭」	紅葉祭りハーサル	立哨指導 学校カウンセラー	運動会合同打合せ会 ハロー英語	ハロー英語	〈小学校〉 〈中学校〉

◇9月・10月の学校の動き

川上小学校では、村役場や教育委員会、森と水の源流館、匠の聚などの各関係機関の支援を得て多くの連携活動を実施しています。子どもたちにとっては、たくさんの人と関わる貴重な体験の機会となっています。

いきいき・わくわく 連携活動

親子理科教室

「レインボーLEDで癒しのランプを作ろう!」というテーマで、大阪工業大学の方々に、発光ダイオードを使ったランプの作り方を教えていただきました。



親子文化鑑賞会

やまぶきホールにて、劇団如月舎による「きすだらけのリンゴ」を鑑賞しました。演劇鑑賞を通して、“心にえいよう”をいただきました。



陶芸教室

夏休みの登校日に、匠の聚で陶芸体験をさせていただきました。陶芸家山本喜一先生に教えていただき、ろくろと手ひねりで作品を作りました。



加太小学校との交流

4・5・6年生が、1泊2日で来村した加太小5年生と上多古川で川遊び、写真家の百々武



(どどたけし)氏による写真教室などで交流しました。

続いて、1泊2日で和歌山市加太へ海浜学習



に行きました。海水浴やスイカ割り、磯観察、料理教室など、たくさんの交流を楽しむことができました。

水のつながりプロジェクト

大和平野土地改良区及び、川上村役場水源課の皆様にお世話いただき、橿原市田中町の水源交流水田で、川上小学校4・5年生と香久山小学校5年生が田植え体験をしました。



秋には、源流体験や大滝ダム見学、稲刈り体験をさせてもらう予定です。

笑顔キラキラ やまぶき保育園

陽が照りつける夏の猛暑の中、やまぶき保育園では、暑さを少しでも忘れることができるように連日プール遊びを行いました。初めは、顔を水に浸けることが苦手だった子も徐々に浸けることが出来るようになり、潜ることが出来る子は、少しずつ長い距離を泳げるようになりました。子どもたちは水の感触を体いっぱい感じながら、思い切り楽しんでいました。



プール遊び楽しいね!



流しそうめんをしたよ!

8月3日やまぶき保育園で、夏の風物詩である「流しそうめん」を学童保育にきている小学生と一緒にに行いました。普通の流し素麺とは違い、素麺の他に園で収穫した子どもたちの大好きなキュウリやプチトマトなどを流しました。「今度は、何が流れてくるかな?」と、竹の中を興味深々のにぞいては、流れてくる食べ物を手掴みで口にパクリ!最初はなかなか流れてくる素麺を掴みませんでした。少しずつ箸やフォークで上手に掴んでお腹いっぱい食べていました。

こんにちは 保健師です



9月は健康増進普及月間です

糖尿病、がん、心臓病、脳卒中など生活習慣病が増えています。川上村も例外ではありません。生活習慣病にかかる医療費は年々増加し、疾病の早期発見・治療ではなく、健康増進・疾病予防に重点が置かれるようになっていきます。そんな中、「健康寿命」を伸ばしていくことが重要となっています。

とここで:

- 「健康寿命」という言葉・意味はご存知ですか?
- 1 知っている
- 2 なんとなく聞いたことがある
- 3 初めて聞いた

健康寿命とは「日常生活に制限がない期間」のことです。「日常生活に制限がない」というのは、

介護を受けずに生活する状態ともいえます。今、いかにこの健康寿命をのばし、平均寿命との差を縮めるかに関心が高まっています。

川上村の健康寿命は、今は男女ともに県内で上位にあり、介護保険料は県内の基準よりも低い水準にあります。高齢化率が高いことを考えると、元気な高齢者が多いといえるのかもしれないが、5年後、10年後も続くとは限りません。生活習慣病である高血圧症・糖尿病・脂質異常症は、単独で発症するものではなく、色んな要因が複雑に絡み合い、徐々に進行していきます。これが原因で、脳血管疾患や心疾患、認知症を発症し、介護が必要となる状態につながります。「薬を飲んでる」「先生に診てもらっている」から安心というわけではありません。薬を飲んだり、先生に診てもらっただけではなく、ご自身の生活習慣を見つめることも必要です。総合検診や病院での検査の結果をみて一喜一憂せず、「何を変えたら悪くならずにすむのかな」と、考えてみてください。変えるところが分からないという方の相談にはいつでも応じますので、気軽に声をかけてください。

B型肝炎ワクチンの定期接種が始まります！

予防接種施行令等の改正により、B型肝炎ワクチンが定期接種化されることになりました。このことにより、今まで診療所ではワクチンの接種が出来ませんでした。今年、10月より接種ができるようになります。

☆B型肝炎とは？☆

B型肝炎ウイルスに感染すると、大人は急性肝炎を発症します。小児では無症状で経過しますが、一部は慢性化して肝硬変や肝ガンに進行します。この病気はワクチンで予防することができますので、忘れずに接種を受けましょう。

村内接種時期 平成28年10月1日から

対象者 平成28年4月1日以降に産まれた1歳未満のお子様

接種費用 無料

接種回数 1歳の誕生日の前日までに3回
(生後2か月から9か月に至るまでの期間が望ましい)

(接種例)

1回目 生後2か月以降

2回目 1回目の接種から27日(4週)以上おく

3回目 1回目の接種から139日(20週)以上おく

※対象となる方には、役場より個別郵送でお知らせします。

※接種時期前でも、平成28年4月1日以前に出生されたお子様で、1歳未満であれば任意接種として村外で接種が可能です。その際、川上村では任意接種であっても費用の全額助成を行っています。

【問い合わせ先】 住民福祉課(保健師) TEL 52-0111



のびっ子広場

と き 9月21日(木) ニコニコ☺マザールーム

10月12日(水) お話の会

「絵本を楽しもう」

時 間 午前10時00分～11時30分

持ち物 お茶・タオルなど

【問い合わせ先】

やまぶき保育園 TEL 52-0019

役場住民福祉課 TEL 52-0111

高齢者暮らしアンケートを実施しています

川上村では「健康で元気な暮らしがいつまでも続く村づくり」の取り組みとして、65歳以上の方全員を対象とした、暮らしに関するアンケート調査を行っています。現在、各地区で実施している体操教室におじやましたり、各家庭を訪問させていただいております。

皆さんが将来利用する、保健・福祉サービスを充実させるためのアンケートですので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



【問い合わせ先】

住民福祉課(保健師) TEL 52-0111

奥大和ゆうゆう祭2016

と き ①10月1日(土) 16:00～20:00

②10月2日(土) 10:00～16:00

ところ ①吉野町中央公民館周辺

②吉野木材協同組合連合会市場および吉野小学校

【問い合わせ先】

奥大和ゆうゆう祭開催協議会事務局

TEL 0744-48-3015

～樹と水と人の共生・川上村の情報～

かわかみ満足ガイド

匠の聚

■「匠の聚フォトコンテスト作品募集！」

※ご応募締め切りが迫っています。

川上村の情景～あなたが捉える川上村の魅力～と題し、心動かす作品を広く募集いたします。

自然風景や動・植物などのネイチャーフォト部門、また人々の暮らしや催事、文化や歴史など時代や社会が写し出されているドキュメント部門があり、1人何点でもご応募が可能です。

写真をとおして川上村の魅力が大勢の方にお届けしたいと考えています。どしどしご応募ください。

締切 平成28年9月30日（金）

発表 平成28年10月中旬

※応募用紙（自作可）に必要な事項を明記の上、作品裏面に貼付のうえ匠の聚までご応募ください。応募票は匠の聚ホームページからダウンロードすることも可能です。

【お申込み・問い合わせ】

《匠の聚 TEL 0746-53-2381》

山の学校 達っちゃんクラブ

■達っちゃんクラブの森を作ろうDAY

東川・匠の聚にある達っちゃんクラブの森の草刈りや遊歩道の整備を行う作業日です。

「遊びと学びと芸術の森」をめざし、一緒に森を作りましょう。

とき 平成28年10月8日（土）

定員 制限なし

対象 幼児以上

参加費 無料

締切り 10月7日（金）

申込み 住所・氏名・電話番号・参加人数を電話・はがき・FAX・メールいずれかでお申込みください。

【お申込み・問い合わせ】

《一般財団法人グリーンパークかわかみ事務局
TEL 0746-52-0333》

森と水の源流館

■源流学の森づくり・山野草の里交流会

川上村で吉野川の源流を守るための森づくりを行う「源流学の森づくり」と、桜井市三谷で大和川の源流を守り、里山の整備を行う「NPO法人山野草の里」との活動・交流です。川上村白屋で草刈りをしたり、自然観察をしたり、外来種植物を駆除します。

とき 平成28年9月17日（土）

ところ 白屋地区（白屋地区駐車場集合・解散）

定員 10名 **参加費** 無料

■吉野川紀の川しらべ隊 白屋の鳴く虫をしらべよう

白屋地区で秋の虫をしらべよう！

とき 平成28年10月8日（土）10：30～15：30

ところ 白屋地区（白屋地区駐車場集合・解散）

講師 古山 暁 氏（まろろみあ）

定員 20名

参加費 500円 ※源流人会会員・川上小中学校在校生は無料 公共バス利用者は100円

【申し込み・問い合わせ先】

《森と水の源流館 TEL 0746-52-0888》

ふるさと市開催日

【9月】11日・17日・18日・19日・22日・25日

【10月】2日・8日・9日・10日・16日・23日・30日

《役場地域振興課 TEL 0746-52-0111》

法律相談会のお知らせ

奈良県司法書士会による、登記・法律の無料相談会を実施します。

詳しくは広報8月号の折込チラシをご覧ください。

とき 9月24日（土）

じかん 13時～16時

ところ 川上村役場

予約優先

【問い合わせ先】奈良県司法書士会

TEL 0742-22-6677 平日9時～17時まで

図書館だより

「暮しの手帖」



みなさんは、朝の連続テレビ小説「とと姉ちゃん」はご覧になっていますでしょうか。

ドラマ「とと姉ちゃん」は、生活総合誌「暮しの手帖」の創業者らの軌跡をモチーフにしたものです。今回は、ドラマのヒロインのモデルとなった大橋鎮子氏の本を一冊ご紹介いたします。

とと姉ちゃんを見ている方におすすめです！

“「暮しの手帖」とわたし”

大橋鎮子（著）

企画を考え、取材をし、写真を撮り、記事を書き、レイアウトする。そうした仕事の合間に、少しずつ書きとめてきた大橋鎮子の思い出が一冊になっています。

戦後まもなく「暮しの手帖」が生まれたきっかけや無名の雑誌が大きく成長していくようすなど、とっておきの話が満載。当時の貴重な写真も収録されています。カバーは、花森安治が描いた「ある午後の編集部」。1958年、訪米中の大橋に宛てたものだそうです。

ドラマと一緒にぜひご覧になってみてください。



ゆるかる読書会 夜の大人読書会

毎回テーマにそった本やオススメの本を紹介しあい、なごやかに話をしています。

とき 9月15日（木） テーマ「食べ物」
10月13日（木） テーマ「植物」

ところ 図書館 19時～

「一度見学してみたい」という方もお待ちしています。お気軽にご参加ください。

【問い合わせ先】

川上村立図書館 TEL 52-0144

図書館カレンダー

●色の日が休館日●

	日	月	火	水	木	金	土
❖					1	2	3
9	4	5	6	7	8	9	10
月	11	12	13	14	15	16	17
❖	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

	日	月	火	水	木	金	土
❖							1
10	2	3	4	5	6	7	8
月	9	10	11	12	13	14	15
❖	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					



川上村

郷土資料の紹介

「大迫ダム誌」川上村

本書には、当時の大迫ダム工事の様子や入之波小学校の様子などがわかる写真が記載されており、川上村のあらましから大迫発電計画までその当時の人々の声もふまえ、事細かい詳細が記載されています。

吉野林業の父と呼ばれた

土倉庄三郎の

訪はな

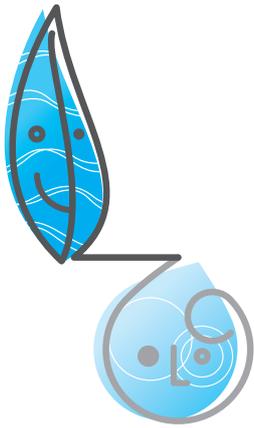


「大滝小学校」
明治の初め、土倉庄三郎翁の肝いりによって、当時の地藏堂を改築し、大滝に小学校が作られました。このとき、翁は村内の児童に就学をすすめ、政府の発刊した教科書や文具用品を児童に贈っています。さらにその後、児童全員にお揃いの洋服を寄贈したのです。その当時、全校児童が統一した洋服を着ることは極めて珍しいことだったそうです。

森と水の源流館だより

September, 2016 vol.166

TEL 52-0888 FAX 52-0388 (水曜休館)



川上村の名所・旧跡 其の六

「丹生川上神社上社（迫）」… 天武天皇（在位673～686年）が創祀したと伝えられる、日本を代表する水神の社です。遷座前の旧境内地からは平安時代の石敷、中世の社殿跡などが発見され、古くから篤い信仰を集めていたことが分かりました。現在でも神社の祭礼には川上村内に留まらず、吉野川・紀の川の恵みを受けている流域の多くの人たちが集っています。

※村内の名所・旧跡を簡単に紹介します。エコツアーなどに活用できるように情報を充実させたいと思います。



8月の水源地の森

8月の水源地の森

8月もまとまった雨が降らない「吉野川源流―水源地の森」でしたが、森に入るとひんやり涼しい風が心地良く感じられました。18日に大和平野土地改良区主催「吉野川分水源流トレッキングツアー」、22日には川上村地域づくりインターン事業で学生が訪れるなど、水源地の森の大切さを学んでいただきました。

私のおススメの水源地の森での過ごし方は、ちょうど良い岩場などの寝床を探し、空を見上げて寝転ぶことです。すべての疲れが森の中に溶かされていく心地よさを体験できます。これをインターン生にも体験してもらおうと好評でした。

最近では、「森林療法」という

学問分野も確立されつつあり、森林の持つ健康増進効果や癒し効果が注目されています。森と水の源流館でも、大阪国際大学橋本研究室と協働で水源地の森における森林療法の研究を行ってきましたが、水源地の森に行くと、ストレス値が下がるなど一定の効果が示唆されています。

最近の研究では、森林浴をする
と、森の香り成分とも言われる
フィトンチッド（植物が発散して
いる微生物の活動を抑制する作用
をもつ化学物質）が血液中に取り
込まれることなどが判明し、その
仕組みが科学的にも解明されつつ
あります。この他にも、キレイな
空気、心地よい風、緑に囲まれ
た空間など五感を伝わって入って
くる情報がリラックス効果を高めて
いることは想像に難くありません。



大和平野土地改良区様より森守募金をいただきました
(18日「吉野川分水源流トレッキングツアー」にて)

ちなみに、2010年くらい
で話題になっていたマイナスイオ
ン（科学用語ではなく造語）で
は、今のところ健康増進効果に根
拠がないことがわかっています。
最近では、その効果をうたうとニ
セ科学や誇大広告として訴えられ
ることもありますのでご注意ください。
いずれにせよ、川上村にたくさ
んある森林に入るととても気持ち
良くなり、健康になるということ
は間違いのないのですから、体力作
りやストレス解消に上手に活用さ
れると良いですね。

みんなで考えよう！川上村の環境

その75 ～吉野川の恵みを分かち合い、繋いでいくためにパートⅡ～

活動推進の基本目標

1. 自慢の種（自然資源）を守り育みます。
2. 自慢の種と調和する快適・安全な環境を育みます。
3. 持続可能な仕組みを育みます。
4. 地球環境に対する人類の働きかけの素晴らしい見本になることをめざします。

環境マナー意識の向上に手ごたえ！

今年も、行楽客やキャンプ客が最も多いお盆休みの8月12日（金）と14日（日）の二日間、中奥川・三之公川・上多古川を重点的に河川パトロールを行いました。

今年も、都市部の大学生が村に滞在して地域づくりを学ぶ“川上村地域づくりインターン”の女性4名も参加し、広報車からの呼びかけや、チラシ配布などを行い、「皆さまが気持ちよく利用できるようにごみの持ち帰りにご協力下さい」と呼びかけました。

紀の川・吉野川の源流の美しい自然を求める来訪者は、大阪を中心とした関西圏の他府県ナンバー車も多く、子供連れのグループなど毎年来村者は増える一方です。一方、環境マナーへの意識は少しずつ向上しており、ごみの総量は減少傾向にあります。

お盆休みに啓発を行った人数 延べ1,200人



川上村の取り組みを伝え、環境保全の協力を呼びかけることで、**水源池の村づくりの協力者**になってもらえるよう呼びかけました！

課題も…

今回、呼びかけを行った支川では放置ゴミの量は減少する一方で、呼びかけを行っていない本川では放置ゴミの散乱が多数見受けられるなど、環境マナーの意識の差が現れており、啓発の重要性と効果が実証されております。今後も、引き続き、啓発と呼びかけを行っていきます。

【問い合わせ先】 役場水源地課 TEL 52-0111

～川上村既存木造住宅耐震診断支援事業のご案内～

耐震診断

を受けてみませんか？

あなたの
住まいは
大丈夫？

地震から
大切な命を
守るために…

多くの犠牲者を出した平成7年の阪神・淡路大震災における犠牲者の9割近くが住宅の倒壊による
圧死・窒息死によるものでした。

地震から家族と財産を守るには、強いわが家にするのが不可欠で、その第一歩がわが家の健康診
断ともいえる「耐震診断」です。

川上村では、「耐震診断」にかかる費用の全額を助成する事業を行っています。

この機会に「耐震診断」を受けてみてはいかがでしょうか。

1. 助成の対象となる住宅（次のすべてを満たすものが対象となります）

- ・村が定める区域内にある木造住宅のうち、昭和56年5月31日以前に着工されたもの
- ・延床面積が250㎡以下でかつ、階数が2以下のもの（地階を除く）

2. 助成額

- ・1つの対象住宅にかかる費用の全額を村が助成します。

3. その他（留意事項）

- ・耐震診断を受ける前に、申込手続きをしていただくことが必要です。
- ・上記のほかにも各種要件がありますので、役場地域振興課までお問い合わせください。

《受付期間 平成28年10月3日(月)～10月31日(月)》

【問い合わせ・申し込み先】 役場地域振興課 TEL 52-0111 FAX 52-0345

匠の聚 従業員募集

募集人数 宿直アルバイト1名

事業所 (一財) グリーンパークかわかみ
(川上村迫695「ホテル杉の湯」内)

勤務場所 匠の聚 (川上村東川135)

応募資格 川上村内在住者

勤務時間 17時～翌朝8時30分まで

※原則毎週木曜日・土曜日・日曜日のうちコテージ
宿泊予約のある日。

賃金 1回6,000円

業務内容 お客様が安心して快適にお過ごしいた
だくために、受付や案内、施設守衛を
行っていただきます。

申込み先 〒639-3541

川上村東川135 「匠の聚」

※匠の聚まで履歴書をご郵送ください

※接客パートタイムスタッフ、アルバイトスタッ
フも同時に募集しています。詳しくは匠の聚ま
でお問い合わせください。

【問い合わせ先】

匠の聚事務局 TEL 0746-53-2381

自衛官募集のご案内

◆自衛官候補生（陸上・海上・航空自衛隊）

○対 象 18歳以上27歳未満の男子

○試験日 平成28年10月1日(土)・2日(日)

○試験会場 航空自衛隊奈良基地

○既定の採用数に達した場合は、試験を中止する
ことがあります。

◆防衛大学校学生（推薦・総合選抜・一般）

○対 象 18歳以上21歳未満の男女

○試験日

【推 薦】 9月24日(土)・25日(日)

【総合一次】 9月24日(土)

【一般一次】 11月5日(土)・6日(日)

○試験会場

【推薦・総合】 防衛大学校（神奈川県）

【一般一次】 奈良県内

※詳しくは、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

自衛隊奈良地方協力本部

五條地域事務所 TEL 0747-22-3789

俳句

川上俳句会

矢野典子選

特選 秋の蟬力を呉れてゐるやうな

〔評〕耳が痛いほど鳴く蟬に、暑さで無気力に成りがちな作者は、何だか力づけられている様に思われるのだ。共鳴しきり：

辻井 清子（大滝）

特選 蝮構へわれも構へて取り逃す

〔評〕蝮は人間にドキッ！人間は毒蛇に強く緊張する。お互い生命にかかわる危険に直面しての身構えである。下五に読者は気抜ける。

住川 準典（武木）

特選 掃苔や隣に無縁仏達

〔評〕炎天の下、お墓の掃除に行く。草を抜き、墓石を洗い、お線香を焚く。ふと近くの無縁墓に目をやると、墓地は荒れ、供花も供えられていない。近親者の訪れない墓に、作者はひどく心を痛めている。

新子谷生子（北和田）

佳作 井戸水に浸す両の手帰省かな

前田 景子（大滝）

入選 橋多き溪谷にあるキャンプ場

阪本 蓉子（東川）

朝焼けには思はずそっと手を合わす

望月 彰美（迫）

花火見に行くか二人の下駄の音

辻井 清子（大滝）

蓮鉢のメダカ元気が覗きけり

古瀬 和子（大滝）

山間に打ち上げ花火木霊せり

松本 全代（大滝）

鳳仙花稚の片言又増えて

上田 一郎（伯母谷）

どこことなく涼しき風や秋立つ日

枅 恭子（東川）



(川上村人権・同和問題啓発活動推進本部)

創立50周年記念

川上村老人大会



とき 9月15日（木）13：00～16：00
ところ やまぶきホール（宮の平）
内容 開会行事・演芸その他
 川上村老人クラブ連合会は創立50周年を迎えました。
 たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

【問い合わせ先】

川上村老人クラブ連合会事務局
 （社会福祉協議会内）TEL 52-0294

救急関連各種講習会のご案内

平成28年度の各種講習会を下記のとおり開催します。
 （上級救命講習）

とき 1月21日（土） 9時から18時まで
ところ 奈良県広域消防組合 五條消防署
 （五條市今井4丁目3-23）
申込受付 11月1日（火）～11月30日（水）

（患者等搬送乗務員講習）

●基礎講習
とき 11月5日（土）・6日（日） 9時から17時まで
ところ 奈良県消防学校（宇陀市榛原下井足17-2）
申込受付 10月3日（月）～10月19日（水）まで

●定期講習

とき ①11月10日（木） 9時～12時まで
 ②11月11日（金） 13時30分～16時30分まで
ところ ①かしはら安心パーク（橿原市東竹田町224-1）
 ②奈良市防災センター（奈良市八条5丁目404-1）
申込受付 10月3日（月）～10月19日（水）まで

【申し込み・問い合わせ先】 奈良県広域消防組合
 吉野消防署 救急課 TEL 0746-32-1011

バスの時刻表の訂正

現在、皆さまに配布しておりますバスの時刻表(平成28年4月1日改正)の記載に一部間違いがありました。

ご迷惑をおかけしますが、下記のとおり訂正をお願いいたします。

記

平日(入之波方面)

	誤	正
大滝	16:21	→ 16:20
川上村役場	16:27	→ 16:26

土・日・祝日(上市駅方面)

大滝	16:59	→ 16:57
西河口	17:00	→ 16:58
西河	17:01	→ 16:59
上市駅	17:20	→ 17:18
大滝バスセンター	17:37	→ 17:35

【問い合わせ先】

総務税務課 TEL 52-0111

ちびっこ増やし隊 山の音楽会 第2弾

赤ちゃんからお年寄りまで、音楽で気軽に楽しんでもらえる場をご用意してお待ちしております。

皆様お誘いあわせの上、是非ご来場ください。



と き 10月16日(日)
開場 13時30分
開演 14時00分
ところ 川上村ふれあいセンター

料 金 無料

出演者 檀原市吹奏楽団
村内有志



山の音楽会第1弾の様子

【問い合わせ先】ちびっこ増やし隊事務局(定住促進課) TEL 52-0111

訂正とお詫び

広報かわがみ8月号の3ページ、川上村議会臨時会の日付を8月3日と記載しましたが、正しくは7月28日でした。

訂正するとともに深くお詫び申し上げます。

広報編集委員会

入居申し込み期間延長!
村営住宅(宮の平)の入居申し込み期間を延長します。詳細は広報かわがみ8月号もしくは、左記までお問い合わせください。
【問い合わせ先】
地域振興課 TEL 52-0111

イワガサ(バラ科)
本州(近畿地方以西)、四国、九州、朝鮮半島、中国に分布する落葉低木。花期は5月で、枝先に多数の白い花をつける。奈良県では川上村、上北山村、天川村の限られた地域の崖地に分布するが、わずかである。川上村の産地では数本残るだけで、風前の灯と成っている。奈良県の絶滅危惧種に指定されている。



かわがみの草花

村の人口

8月31日現在

人口総数	1,515人	(-2人)
男	725人	(-1人)
女	790人	(-1人)
世帯数	836世帯	(-1世帯)

8月中の異動

転入	2人	転出	2人
出生	0人	死亡	2人

30万円 辰巳 佳叙
教育振興の為に

一般寄附金を次の方から
いただきました(敬称略)

10万円 井上 英昭(井戸)
亡き母の供養として

10万円 松本 勝利(東川)
亡き父の供養として

20万円 泉谷 吉昭(伯母谷)
亡き父の供養として

社会福祉協議会へ次の方から
善意が寄せられました(敬称略)

上平 宏枝(西河)
8月26日 87歳

橋本 行男(下多古)
8月6日 85歳

おくやみ(敬称略)